

JIS

石油製品—潤滑油—水分離性試験方法

JIS K 2520 : 2000

(2006 確認)

平成 12 年 11 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS K 2520 : 1991は改正され、この規格に置き換えられる。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。通商産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS K 2520には、次に示す附属書がある。

附属書1(参考) JISと対応する国際規格との対比表

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 36. 8. 1 改正：平成 12. 11. 20

官 報 公 示：平成 12. 11. 20

原案作成協力者：石油連盟

審 議 部 会：日本工業標準調査会 化学部会（部会長 三田 達）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室 [☎100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目3-1 TEL 03-3501-1511(代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

石油製品—潤滑油—
水分離性試験方法

K 2520 : 2000

Petroleum products—Lubricating oils—Determination of water separability

序文 この規格は、1994年に第2版として発行されたISO 6614, Petroleum products—Determination of water separability of petroleum oils and synthetic fluidsを元に作成した日本工業規格であるが、技術的内容を変更するとともに対応国際規格には規定されていない規定項目を日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項又は原国際規格にはない事項である。変更の一覧表をその説明を附けて**附属書1**に示す。

1. 適用範囲 この規格は、石油製品の潤滑油⁽¹⁾を水又は水蒸気で乳化したときの水分離性を試験する方法について規定する。

注⁽¹⁾ 合成潤滑油には、抗乳化性試験方法だけが適用される。

備考1. この規格は、危険な試薬、装置を使うことがあるが、すべてにわたって安全な使用方法を詳細に規定しているわけではないので、この試験方法の使用人は試験に先立って、適切な安全及び健康上の禁止事項を決めておかなければならない。

2. この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 6614 : 1994 Petroleum products—Determination of water separability of petroleum oils and synthetic fluids (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS B 7410 石油類試験用ガラス製温度計

JIS B 7411 一般用ガラス製棒状温度計

JIS K 0557 用水・排水の試験に用いる水

JIS K 2251 原油及び石油製品—試料採取方法

JIS K 2503 航空潤滑油試験方法

JIS K 2510 潤滑油—さび止め性能試験方法

JIS K 2839 石油類試験用ガラス器具

JIS K 8034 アセトン(試薬)

JIS K 8150 塩化ナトリウム(試薬)

JIS K 9703 2,2,4-トリメチルペンタン(試薬)

JIS Z 8402 分析・試験の許容差通則

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

a) **水分離性(water separability)** 潤滑油が水を分離する能力。

b) **抗乳化性** 指定された温度において、潤滑油を水で乳化したときの水分離性。